

春日井市地球温暖化対策実行計画（2019～2030）の改定（案）の構成について

現計画の構成		現計画の内容	改定（案）の構成等
タイトル		春日井市地球温暖化対策実行計画（2019～2030）	（仮称）春日井市地球温暖化対策実行計画（2019～2030）改定版
第1章 計画の背景	1 地球温暖化とは	地球温暖化のメカニズム	変更なし
	2 地球温暖化の状況	温室効果ガスの濃度の変化、温室効果ガスによる気温の変化、温室効果ガスによる気温上昇の将来予測	IPCC 第6次評価報告書における将来予測（世界の平均気温）差替え
	3 地球温暖化の影響	農業・林業・水産業、自然災害、人の健康、自然生態系、2018（平成30）年夏の異常気象	変更なし
	4 地球温暖化対策の動向	国際社会の動向、SDGs、国の動向、愛知県の動向	COP26（2021年（令和3年）10月～11月） 2020年（令和2年）5月 新型コロナウイルス感染症を想定した、「新しい生活様式」の実践 2020年（令和2年）10月 「2050年カーボンニュートラル宣言」 2021年（令和3年）10月 「気候変動適応計画」閣議決定 2021年（令和3年）10月 「地球温暖化対策計画」閣議決定 2023年（令和5年）2月 「あいち地球温暖化防止戦略」改定予定等、追記
	5 気候変動（地球温暖化）への対応	緩和策、適応策	変更なし
第2章 春日井市の地域特性	1 自然環境特性	位置、気候、土地利用	年次更新
	2 社会環境特性	人口、産業、住宅、交通、廃棄物	年次更新
	（新規）再生可能エネルギー導入ポテンシャル	—	春日井市の再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査結果
第3章 地球温暖化対策実行計画の実施状況	1 地球温暖化対策実行計画（平成24年3月）の概要	計画策定の背景、温室効果ガス排出量の削減目標	変更なし
	2 温室効果ガスの排出状況	温室効果ガス排出量 部門別二酸化炭素排出量	データ更新（従来の計算方法） 2008年度と2019年度の比較に変更 （新規）計算方法の変更について（最新のマニュアルに沿うように変更） （新規）排出量の推移（2013年度～）
	3 数値指標と達成状況	指標との比較	2019年度の値に変更
第4章 改定計画の基本的事項	1 計画改定の経緯	計画改定の経緯	今回の計画改定の経緯を追記
	2 めざすまちの姿と基本理念	めざすまちの姿と基本理念	ゼロカーボンシティの実現
	3 計画の目的	計画の目的	変更なし
	4 計画の期間	計画の期間	変更なし
	5 計画の対象	対象の範囲、対象とする温室効果ガス、部門・分野	変更なし
	6 計画の位置付け	計画の位置付け	変更なし

第5章 温室効果ガス排出量の削減目標	1 温室効果ガス排出量の将来推計	BAU ケース 2030 年度	国の対策等を含めた 2030 年度 2050 年度将来推計に変更	
	2 温室効果ガス排出量の削減目標	2030 年度 26%	2030 年度 46%削減、2050 年度カーボンニュートラルに変更 「ゼロ カーボンシティ かすがい」宣言について記載	
	(新規) 再生可能エネルギー導入目標	—	再生可能エネルギーを最大限導入した場合、2030 年度 46%達成のケース、FIT 導入量の推移が継続したケース	
(新規) アンケート調査	(新規) アンケート調査結果	—	アンケート調査結果を記載	
第6章 施策・取組みの基本方針	1 基本方針	家庭部門への取組みの重視、国・愛知県との協調・連携の促進、緩和策と適応策の推進	変更なし	
	2 各主体の役割	市民、事業者、市	変更なし	
	3 施策体系	I 再生可能エネルギーの利用促進	変更なし	
		II 市民・事業者の活動促進	変更なし	
		III 地域環境の整備及び改善	変更なし	
IV 循環型社会の形成		変更なし		
第7章 温室効果ガス削減に向けた施策・取組み	1 施策・取組み	I 再生可能エネルギーの利用促進 太陽光発電システムの導入・活用促進 バイオマスの活用促進	ソーラーカーポートについて追記 営農型太陽光について追記 地中熱利用促進策の検討 小水力発電施設導入の検討	
		II 市民・事業者の活動促進 建物における低炭素化の促進 暮らし・事業活動における低炭素化の促進 環境教育と情報提供の充実 自動車における低炭素化の促進 行政における率先行動	集合住宅について追記 行政の率先行動に太陽光導入を追記	
		III 地域環境の整備及び改善 低炭素まちづくりの推進 緑化の推進	次世代バスの導入による公共交通機関の低炭素化の追記 地域循環共生圏について追記 地域新電力について追記	
		IV 循環型社会の形成 ごみ減量と資源化の推進	4R に変更	
	2 成果指標について	指標 1 各世帯の 1 か月あたりの平均の電気使用量	指標 1 各世帯の 1 か月あたりの平均の電気使用量 指標 2 各世帯の 1 か月あたりの平均のガス使用量 指標 3 民生業務部門の延床面積 1 m <sup>2</sup> あたりの年間エネルギー消費量 指標 4 自動車 1 台あたりの年間化石燃料消費量	検討事項
		指標 2 各世帯の 1 か月あたりの平均のガス使用量		
		指標 3 民生業務部門の延床面積 1 m <sup>2</sup> あたりの年間エネルギー消費量		

第8章 気候変動の影響に 対処する施策・取組み	1 背景	—	最新情報に更新
	2 この地域の気候の状況	気温、降水量	最新情報に更新
	3 この地域の気候の将来予測	気温、降水	最新情報に更新
	4 本市における気候変動適応策の考 え方	基本方針、気候変動適応策の分野・項目、取組みの進め方	最新情報に更新
	5 重点的に進める取組みの内容	健康（熱中症対策）、自然災害（洪水・内水対策）、国民 生活・都市生活（ヒートアイランド等対策）	最新情報に更新
第9章 計画の推進	1 推進体制	市役所内部の連携、他機関との連携	変更なし
	2 進行管理	進行管理項目、進行管理手法	変更なし
第10章 行動の手引き	1 家庭のできる温暖化対策	地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」 省エネ・低炭素製品の導入、低炭素サービスの選択、低炭 素なライフスタイルへの転換	最新情報に更新
	2 事業所のできる温暖化対策	地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」	最新情報に更新